

学校図書館だより

陽西中学校 10月号



地域学校園

●今の特集●



『友だちになれたら、
きっと。』

ガリト・フィンク作



イスラエルの少女ガトリと、パレスチナの少女メルヴェトが文通を始めたのは、イスラエルとパレスチナの紛争が続く中のことでした。

『王への手紙』

トンケ・ドラフト作
岩波書店



見習い騎士のティウリは、見知らぬ男に重要な手紙を託された。思いがけない使命の先には、さまざまな陰謀が待っていた。

『きれいな言葉づかいと
好感度アップの敬語』

トンケ・ドラフト作
岩波書店



日常なさまざまな場面にふさわしい言葉づかいだけでなく、礼状などの手紙やメールに便利な表現や使える言葉も紹介しています。

読書感想画中央コンクールの指定図書が入りました

佐藤まどか著

『世界とキレル』

舞は、スマホを取り上げられ自然合宿に参加することになる。



ピート・ハウトマン 作

『きみのいた森で』

森で突然消えたエリー。謎を解く鍵は秘密の書にあった。



宮田律著

『武器ではなく命の水をおくりたい』

砂漠を緑地化した中村医師の生涯を学ぶ。



まはら三桃著

『零から0へ』

新幹線開発に携わった人々の物語。



千葉望著

『大切な人は今もそこにいる』

大切な人を失うとは。死について考える本。



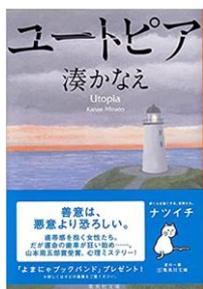
応募の詳細は
図書館掲示板
をみてね

新着図書



『変化球男子』

M.G.ヘネシー作
体は女子、心と頭は男子として生まれたシェーンの願いは男として生きること。



『ユートピア』

湊かなえ著
車椅子の小学生の存在をきっかけに母親たちがボランティア基金を立ち上げる。



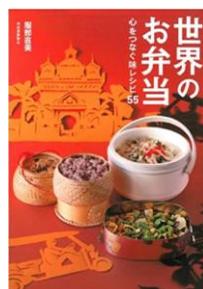
『医者のたまご、世界を転がる』

中島侑子著
駆け出しドクターが世界を駆け回り救急救命医になるまで。



『まんがでわかる理科系の作文技術』

木下是雄原作
明朗簡潔な相手に伝わりやすい文章技術が身につく。



『世界のお弁当』

服部直美著
各国のお弁当事情や容器やししぴをおさめた。

2021
第75回

読書週間

10月27日～
11月9日

読書の力で平和な文化国家へ



読書週間は、1947年に出版社・取次会社・書店と図書館、そして新聞や放送のマスコミも一緒になりスタートしました。

いまでは読書週間は日本中に広まり、日本は世界の中でも特に「読書をする国民」の国となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらおうきっかけとなることを願っています。

福西中学校の読書週間は、11月下旬に行います。